

平成 30 年度 出前懇談会 会議録			
地区	中川・馬原 地区		市長・副市長の出席 市長・副市長
日時	平成 30 年 8 月 27 日 (月) 19:30～21:00		場所 天瀬公民館
地区参加者	高倉馬原一自治会長 (馬原地区理事)、 穴井馬原三自治会長 日隈赤岩自治会長 (中川地区理事)、 矢幡丸山東自治会長、 中元桜竹一自治会長、河野桜竹二自治会長、		計 36 名
担当グループ	リーダー	永瀬 商工観光部長	副リーダー 坂本 土木課長
	プレゼンテーター	藤原 天瀬振興局長 矢幡 税務課長	連絡調整担当 藤原 天瀬振興局長
	書記	穴井 清掃センター長、池内 学校給食センター長	
	構成員	松岡 こども未来課長	
	その他		
	議題	テ ー マ	説 明 者
	1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～	矢幡 税務課長	
	2. 「土砂災害警戒区域」とは、	藤原 天瀬振興局長	

1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～
2. 「土砂災害警戒区域」とは、

(意見)

- ・大鶴地区の上宮町の自主防災の取組みの中で、自治会長が住民に 3 回避難の呼びかけを行っているが、どういうやり方か。

(回答)

- ・水郷テレビを利用して地域内放送で呼びかけた。
- ・今回、小野地区では、有線テレビのケーブルや電線が切れ、携帯も繋がらなかったが、今後も、こういう事態が想定されるため、市民にラジオを貸し出し、衛星から直接、情報を送れるようにしたいと考えている。

(意見)

- ・ここ何回かの避難の中で、障がい者や高齢者から避難所に洋式トイレがないため、避難をあきらめたという話を聞いている。最低でも指定避難所には洋式トイレを整備してもらいたい。
- ・車いすの方も、スムーズに避難所に入出りできるようにスロープの設置等の改修をしてもらいたい。
- ・夜中に別の避難所から移動して来たという話も聞いたが、安全面からいかなものかと思った。

(回答)

- ・洋式トイレについては、直ちに全てに設置というのは難しい。段ボールのポータブルのものを備えたい、段ボールベッドも少しずつ配置していきたい。
- ・夜中に避難所を移動したという件については、事前に、安心できる避難所を確認していただくことが重要で、避難指示が出たからといって夜中の移動は極力避けてほしいと思っている。
- ・朝と昼と夜では避難の仕方が全然違う。7月6日の大雨の時は、夕方以降に雨が降る見込みであったため、早めに避難勧告と避難指示を2時間ごとに出したが、夜の8時9時以降は出さなかった。
- ・自宅の中での垂直避難についても、考えていただきたい。

(意見)

- ・避難所に行くまでに危険な箇所があるため、行きやすく高台にある避難所など地域住民の意見を聞いて見直しをしてほしい。

(回答)

- ・地域の実情に合った形で判断いただき、見直すのが一番良いと考える。
- ・避難準備情報から避難勧告・避難指示と順次、情報を提供しているので、災害が深刻な状況になる前に皆さんで判断し、早めの避難をしていただきたい。

(意見)

- ・平成28年の地震の時、旧桜竹小学校に50名の方が約1週間避難していた。情報が入ってこない、現状がわからないからということでラジオを設置していただいたが、目に入ってくる情報が必要。指定避難所11か所にテレビを設置していただけないか。
- ・災害時に、けがをされた方の対処方法がわからない。市と地域が協力して地域に医療関係の組織作りをしていただけないか。

(回答)

- ・ 体育館に、順次、テレビのケーブルジャック取付の作業を進めている。
- ・ 大規模災害時は、県が県医師会、県薬剤師会と協定を結び対応しています。なお、小規模な災害時の対応として、市と市医師会で協定を締結する予定です。(締結予定日：平成30年12月18日

(火))

- ・ 是非、防災メールの登録をお願いしたい。

(意見)

- ・ 地震に備えて、発電機の取り付けは、他の自治会でもやっているのか。

(回答)

- ・ 公民館等で、カセットコンロ式の発電機などを購入する際は、市から補助が出るようになっているので活用してもらいたい。(日田市自主防災組織活性化事業補助金)
- ・ 天瀬公民館の発電機については、来年の出水期までには高台に上げるよう計画している。

(意見)

- ・ 天瀬町の危険個所を知らせる看板が古くなって警告内容がわからない。

(回答)

- ・ 全て調べた上で、随時取り替える。

(意見)

- ・ 避難訓練に取り組んでいる所と取り組んでいない所がある。また、取り組み内容がバラバラで、避難はしたが集合したのみで、人数の報告だけで終わったところもある。これで本当の避難訓練なのかと思う。
- ・ 訓練の時から避難した人、避難していない人、なぜ避難していないのかなど、日ごろから把握しておかないと、いざ災害時にどうやって情報収集すればいいのか必ず戸惑う。
- ・ 日ごろから地区の班長さんなどが把握をするための様式などを作っておけばいいと思う。そういったのが避難訓練だと思う。

(回答)

- ・その通りだと思う。吹上町は地区ごとに責任者を置いて安否確認ができる仕組みを自分たちで作り上げている。
- ・天瀬地区でも、一番確認しやすい方法を地域の実情に合う形で検討、実施いただけるといいと思う。
- ・要支援者の中には、様々な理由で個人情報であるとか、障がい者の方を含めて情報提供を嫌がる方もいる。地域コミュニティの中でしっかり信頼関係を築けるよう、取組をやっていただければいいと思う。

(意見)

- ・市長から話のあった、衛星を使ったラジオがあれば、どこでも情報が取れるということなので、この取り組みは真っ先に行うべき内容と思う。
- ・トイレなど避難所の充実も大事だと思うし、日田市全体の防災訓練や、今日のような懇談会を広げて防災に対する取り組みを進めていただきたい。

(回答)

- ・防災講演会は随時開いている。要望があれば、各地区で開くこともできる。

(意見)

- ・天瀬町内の防災士が誰だかわからない。日田市から防災講演会の案内が来るが、なかなか出られない状況であるし、消防団とまでは言わないが、防災士の身分を明確にし、支援いただきたい。

(回答)

- ・承知した。

(意見)

- ・数か月前に赤岩地区の写真入りの危険箇所マップの回覧があった。赤岩地区ほとんどが危険箇所だった。どんな危険があるのか、落石があるのか地滑りの危険性があるのか等の情報が記載されているとわかりやすいので、そんな情報公開をお願いしたい。

(回答)

- ・改めて確認、改善したい。

(意見)

- ・先月、避難指示が出たが、その時3日分の食料と水を持って来いとの指示があった。その時に水も食料もなく避難してよいのだろうかと思った。もう少し優しい指示をお願いしたい。

(回答)

- ・持って来いという高圧的なものではなく、避難直後等の場合、市の対応が難しいこともあり、日ごろからの備蓄や避難時の持参をお願いするものである。

(意見)

- ・地震の時に水が濁ったりして、水道が使用できなかった。今後地震があった時に水の確保について考えていただきたい。

(回答)

- ・水の濾過装置を町内に配置しており、ある程度の水の確保はできると思う。